



令和7年度 川口市立戸塚綾瀬小学校だより

【本校HP】⇒
ご覧ください



あ や せ

<6月号>

令和7年5月30日

校外学習 「5年生大貫海浜学園」

校長 栗原 元一

学校では、教室での学習だけではなく、入学式・卒業式といった儀式的行事、運動会に代表される体育的行事があります。また、学校外で学習する、町探検や遠足・社会科見学・修学旅行などの校外学習があります。学年が違うと、なかなか内容を知ることができないと思います。

さて、その校外学習のひとつとして、去る5月15日～16日に5年生児童が、「川口市立大貫海浜学園」での宿泊学習を行いました。保護者の皆様の中には、小学生の時に訪れた方もいらっしゃると思いますし、地域の方から「私も数十年前、子どもの頃に行きました。」というお話も伺いました。予備知識をもって子供たちを参加させると、より教育効果が高まると考えていますので、ご紹介いたします。今後、参加予定のお子様がいいらっしゃる皆様の参考になれば、幸いです。

川口市立大貫海浜学園の歴史（概要）

- ・千葉県富津市に昭和15年開園 ・当初は小学校6年生が、3泊4日の宿泊学習を実施
- ・平成16年より、5年生に変更 ・同28年に、2泊3日となる。 ・一時、新型コロナウイルスの影響で休園
- ・現在、1泊2日で市内の全小学校5年生（約5,000人）が利用

私を知る範囲では、埼玉県内で独自の宿泊施設をもっている市町村は、現在かなり少ないと思います。私の勤務経験地では、行く先々で、「老朽化・耐震工事が必要・維持費用が高い」などの理由で閉園をしていました。ですから、私にとって市の施設での宿泊学習引率は、初めてのことでした。（余談になりますが、市の施設がない場合どうしているか……、県のげんきプラザのような公共施設や民間宿泊施設を利用しています。今回の保護者負担費用は、食事代・バス代等込みで、約3,000円でした。他市では県の施設を利用しても15,000円程度、民間施設利用ですと、25,000円～かかることがほとんどです。川口市民の方は、費用負担の面でも恵まれていると思います。）

では、当日の活動です。【1日目】天候にも恵まれ、海岸のハーフハイキングで富津岬展望台へ夜は、副園長の石井宏明先生による「大貫スペシャルスライドショー」・キャンドルファイヤー等【2日目】海岸での貝拾い・東京湾観音や海ほたるでの展望等、有意義な活動を行うことができました。学園の宿泊は、ホテル旅行のような環境とは違います。食事や寝泊まりの準備・片付けなどを自分たちでしなければなりません。友達と協力して布団を敷いたり二人組でシーツを畳んだり、日頃なかなか経験できないことを経験しました。友達と協力して泊を共にする体験は貴重で、生涯子供達の心に残るものです。また、大貫海浜学園では、集団生活だけでなく命の尊さについても学びました。石井先生より昭和59年に殉職（高波にさらわれた子供を全員助け途中力尽き、自らの命を落としました。）された金子校長先生のお話を伺いました。貝拾いの後、拾った貝を自分から慰霊碑に供えている子がいました。一人一人感じ取ったことは違うと思いますが、命の尊さについて学ぶ貴重な機会になりました。

親元を離れての宿泊学習、川口ではできない体験学習に、子供たちは、たいへん喜び、大貫の自然を満喫していました。

これから行かれる皆さん、楽しみにしててください。



川口市教育大綱（令和3～7年度）

一人ひとりが輝く、
しなやかさとたくましさをもたせた人材を育てる
川口の教育